

連携提案: スポーツ運動学の観点を取り入れたスポーツ・運動指導の提案

キーワード:

芸術・体育教育学系 助教

長谷川 晃一 HASEGAWA Koichi

連携提案内容と効果

「やったあ!」、「できた!」、「見て先生!」、こんな声
が溢れる体育の授業ができれば、教員としてこの上な
い喜びを感じることができると思います。

私は、専門としているスポーツ運動学の「指導者の役
割は、学習者がこれまで出来なかったことを出来るよう
に導くことである」という考え方をもとに、様々な学習者
に運動指導を行ってきました。

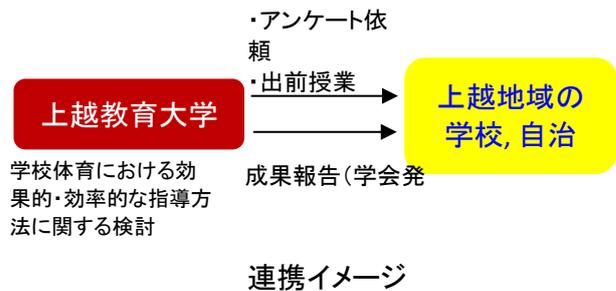
その中で、子ども達がイキイキと活動するために特に
大事だと感じたことは、「運動をどの順序で教えるの
か」、「運動を行う時のコツは何か」です。

このような観点で運動指導することで、専門書等に記
載されている技術情報では解決できなかったつまずき
の解消法を見つけることもできました。

これまでの研究成果をもとに、研修会や出前授業など
を通して関連フィールドと連携することで、上越地域に
おける学校教育のさらなる充実と子ども達の健全な育
成を目指します。

【これまで行ってきた研究の例】

- ①マット運動の前方倒立回転跳びの学習
⇒段階的な学習過程で、目線に意識を向けるというコツ
を強調する。
- ②鉄棒運動の前方支持回転
⇒静止した体勢から行う通常の方法ではなく、動き出し
易さを感じる脚を振った体勢から実施する方法の開発。
- ③現代的なリズムのダンス
⇒自由な表現の前段階に、基本ステップを取り入れた
学習モデルを推奨。



アピールポイント

- ・体育の出前指導
- ・体育の指導法支援
- ・体育の講演活動
- ・体操教室の開催

連携したい分野

体育・スポーツを通して子ども達の健全な発育発達を
図ろうとする学校、自治体

研究テーマ:

プロフィール 昭和61年新潟県新潟市生まれ。上越教育 大学修士(教育学)。環太平洋大学、岐阜 聖徳学園大学を経て令和3年に上越教育大 学に着任。	専門分野 スポーツ運動学
関連URL https://iglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=202101011979597865	主な研究 内容 体育・スポーツにおける動きの指導方法に関する 研究 主な種目は体操、ダンス、体づくり運動

関連する業績等

「現代的なリズムのダンス」の授業に関する実態調査—大学生へのアンケート調査から—。岐阜聖徳学園大学教育実践科学研究センター紀要。2021。20。47-55
平行棒「シャルロ」の習得過程における動感創発分析。スポーツ運動学研究。2019。32。0。79-94
学校体育における手作り教具の使用可能性—「斜板」を用いたマット運動の指導事例—。岡山体育学研究。2018。25。49-55
鉄棒運動における「前方支持回転」の指導方法に関する事例考察。岡山体育学研究。2018。25。1-11
平行棒における「棒下宙返り倒立」の修正指導に関する事例研究：ジュニア選手の指導を例に。新潟体育学研究。2017。35。41-46
平行棒における学習初期の指導に関する実践的研究：小学生を対象にした「棒下宙返り」の運動課題。上越教育大学研究紀要。2017。36。2。633-642

お問い合わせは、 研究室 koichi @juen.ac.jp